

認知症に関する活動計画（概要）

高知県作業療法士会では、2017年度より認知症の方に対応できる人材育成と作業療法士の地域参画を目的に、地域連携部認知症班として活動を行っている。

地域事業として、2021年度より班員が認知症カフェの運営に携わり開催している。また、今年度は介護予防事業の一環として認知症をテーマに講話依頼があり地域住民の方への啓発活動を行っている。今後も、地域活動での人材育成や介護予防、認知症支援事業に作業療法士が参画できるよう活動していく。

認知症カフェへの参画

2021年度より認知症の方を支えている方の支援をコンセプトに、認知症カフェ「カフェけらけら」の企画・運営を行い、今年度で3年目となる。一昨年、昨年ともに県内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止であったり広報をあまり広げず開催していた。今年度は、広報の拡大や今まで行えていなかった茶話会を行うことができおり、テーマに限らずその場で話題に上がった内容について情報交換や助言を行っている。また認知症カフェのロゴを用いて活動のPRとしている。



アップデート研修の実施

期 日：2022年2月11日（土）

場 所：高知県作業療法士会事務局 WEB研修

参加者：6名

参加者が年々減少していることもあり、2023年度は開催せずに内容の変更を検討している。高知県の認知症支援施策や初期集中支援事業等の内容を入れたり、高知県版認知症アップデート研修の作成に取り組んでいる。



あったかふれあい事業

介護予防事業の一環で認知症をテーマとした講話依頼が8月時点で3ヶ所のあったかふれあいセンターからあり、「MCI（軽度認知障害）と認知症予防」をテーマに講話を行った。今後も依頼を頂けるよう、人材育成をすすめていくとともに地域住民の方への啓発活動を行っていく。



COVID-19の影響・対応など

新型コロナウイルスが2類から5類へ引き下げられたこともあり、会議や研修会が対面形式で可能になった。また認知症カフェやあったかふれあい講座など地域での活動を開催しており、地域住民の方と関わる機会も増えている。

しかし、8月時点で県内の新型コロナウイルス感染が拡大傾向となっている。感染対策は継続しつつ県士会員向けの研修や地域での活動を拡大していきたい。